

2021年度 秋季
シンポジウム



持続可能な社会の実現に向けて ～脱炭素社会への廃棄物分野の取り組み～

世界が脱炭素社会の実現に舵を切るなか、日本も2050年までに全体としてゼロにするカーボンニュートラル(CN)を達成することを国の目標としました。今回のシンポジウムでは、廃棄物分野での2050年CN達成に向けて地方自治体、民間企業などが取り組む方向性や国の重点施策について、環境省の廃棄物適正処理推進課課長補佐・山田浩司氏に基調講演していただきます。自治体の脱炭素社会への取り組みとして、「再生可能エネルギーの地産地消による脱炭素化と経済活性化」を福山市に解説いただき、プラントメーカーの「廃棄物処理施設における脱炭素への取り組み」を日本環境衛生施設工業会の技術委員長に解説していただきます。また、廃棄物分野の脱炭素社会実現シナリオやプラスチック資源循環戦略の取りまとめに当たった京都大学名誉教授の酒井伸一氏に「廃プラスチック対策と脱炭素社会」について特別講演していただきます。

ライブ
配信

2021年11月30日(火) 14:00 ~ 17:00

【定員】 300名 (申込締切:11/26(金)、定員になり次第締め切らせていただきます。)

【参加費】 協賛団体、協力団体会員:5,000円 非会員:10,000円 自治体職員:4,000円 学生:2,000円

※参加費振込後のキャンセル、参加費の返還はお受けできません。ご了承ください。

昨今の新型コロナウイルス感染症の流行の状況を考慮して、上記の日程にて無観客開催し、オンライン・ライブ中継を行います。ご視聴方法については、お申込みいただいた方に別途ご連絡をいたします。なお、オンタイムでご視聴になれない方のために、12月1日～31日までオンデマンド配信も行います。事前登録された方は、ご視聴と資料のダウンロードをしていただけます。

主催:(株)廃棄物工学研究所

協賛:(一財)日本環境衛生センター、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(公社)全国産業資源循環連合会

(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、(公財)廃棄物・3R研究財団、(一社)プラスチック循環利用協会

協力団体:(一社)日本環境衛生施設工業会、(一社)環境衛生施設維持管理業協会、(一社)廃棄物資源循環学会、(公社)全国都市清掃会議、(一社)日本産業機械工業会

(一社)持続可能社会推進コンサルタント協会、(一社)廃棄物処理施設技術管理協会、(一社)日本ガス協会、ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会

有害・医療廃棄物研究会、産業廃棄物処理業経営塾OB会、フォーラム環境塾・NPO法人都市環境フォーラム

プログラム

14:00 オープニング・スピーチ

(株)廃棄物工学研究所代表 岡山大学名誉教授 田中 勝

14:15 基調講演:脱炭素社会の実現への廃棄物分野の重点施策

環境省環境再生・資源循環局
廃棄物適正処理推進課・課長補佐 山田浩司 氏

14:45 地方行政解説:福山市の再生可能エネルギーの地産地消による地域の脱炭素化と経済活性化

福山市経済環境局環境部
環境総務課・課長 藤井伸哉 氏

15:15 休憩

15:25 特別講演:廃プラスチック対策と脱炭素社会

(公財)京都高度技術研究所(ASTEM)副所長
京都大学名誉教授 酒井伸一 氏

16:10 技術解説:廃棄物処理施設における脱炭素社会への取り組み

(一社)日本環境衛生施設工業会
技術委員会委員長 田中朝都 氏

16:40 クロージング・リマーク

(株)廃棄物工学研究所代表 岡山大学名誉教授 田中 勝

17:00 閉会

※やむを得ずプログラム・講演者の変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お申込み方法

- ① Web上の案内に従って申込フォームからお申し込み下さい。 <http://www.riswme.co.jp>
- ② Web申込が行えない場合、裏面の申込用紙に記載の上、E-Mailにてご送付下さい。 info@riswme.co.jp
- ③ ①②が行えない場合はFAXにてお申込を受け付けております。FAX番号: **086-239-5303**

お振込先

りそな銀行 芝支店(普)1490768 カ)ハイキブツコウガクケンキュウシヨ

また、お振込いただく際、振込人名義は「**受付番号+参加代表者氏名**」としてください。

振込手数料は参加者各自でご負担願います。

※参加費振込後のキャンセル、参加費の返還はお受けできません。代理出席等にてご対応下さい。欠席の場合も参加費の返還は致しませんので、ご了承ください。

<お問い合わせ> 運営事務局(株)廃棄物工学研究所(担当:石井) TEL / FAX 086-239-5303